

# 京都観光振興計画2020策定以後の京都市の取組

平成26年

平成27年

平成28年

平成29年

平成30年

令和元年

令和2年

## 京都市観光振興計画2020 (平成26年10月)

▶ **目指す姿**：世界があこがれる観光都市

▶ **取組期間**：平成26年10月～令和2年度

▶ **事業数**：191事業 (着手率100%)

### 【4つの柱】主な取組

(1) 受入環境の整備 (人づくり・まちづくり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市認定観光ガイド制度の開始 第1期生の募集開始</li> <li>・四条通歩道拡幅 完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーリンフレンドリータクシー実証実験開始</li> <li>・八条口駅前広場整備完成</li> <li>・宿泊施設拡充・誘致方針策定・上質宿泊施設誘致制度の創設</li> <li>・観光協会日本版DMO登録</li> </ul>
(2) 観光資源 (コンテンツ) の充実 (魅力の向上・誘致手法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都国際現代芸術祭</li> <li>・琳派400年事業</li> <li>・朝観光・夜観光の情報発信</li> <li>・京の冬の旅で朝・夜観光メニューを企画</li> <li>・京の夏の旅40周年</li> <li>・京都市動物園再整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ・文化・ワールドフォーラム</li> <li>・伊藤若冲生誕300年事業</li> <li>・東アジア文化都市2017</li> <li>・大政奉還150年事業</li> <li>・琵琶湖疏水通船本格運航開始 (H30.3)</li> <li>・「ロームシアター京都」再オープン</li> <li>・市美術館再オープン (R2.3⇒)</li> </ul>
(3) プロモーションの強化 (魅力の発信・コミュニケーション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラベルアンドレジャー「ワールドベストシティ」8年連続ベスト10入り (H24~R1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本ラグジュアリートラベルアライアンスの発足</li> <li>・ワンダーラスト1位 (H29,30, R2)</li> </ul>
(4) MICE受入れの推進 (MICE戦略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニークベニュー 施設の充実, 伝統産業や伝統文化に触れる機会の充実</li> <li>・京大との連携協定締結 (MICE誘致等の推進)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立京都国際会館の多目的ホール整備</li> </ul>

### 【計画策定後の課題】

- 外国人観光客の急激な増加とマナー問題
- 無許可民泊施設の増加
- 観光客の集中と混雑
- 国内観光地間の競争激化
- 観光の経済効果が広く行き渡っていない
- 伝統産業・伝統文化等の振興につながる仕組みが不十分
- 観光客が奥深い魅力に十分触れられていない
- 観光業やサービス業を支える担い手不足

## 京都市観光振興計画2020+1 (平成30年5月)

▶ **目指す姿** 持続可能で満足度の高い国際文化観光都市

▶ **取組期間** 平成30年5月～令和2年度

▶ **追加事業数** 27事業 (着手率100%)

▶ **追加事業数** 27事業 (着手率100%)

### 【3つの課題】

- ① 市民生活と観光の調和
- ② 国内観光客の維持 外国人観光客の充実
- ③ 担い手の確保と育成

### ▶ 主な取組内容

- 1 市民生活の豊かさの実現とおもてなし向上
- 2 市民と観光客の安心・安全の確保
- 3 国内外観光客へ質の高い観光の提供
- 4 マーケティングの強化
- 5 京都の観光を支える担い手の確保と
- 6 観光振興推進体制の強化

「市民生活と調和した持続可能な観光都市」の実現に向けた基本方針と具体的方策 ※別紙2

### ▶ 目指す姿

市民の安心・安全、地域文化の継承を最重要視した市民生活と観光の調和

▶ **中間取りまとめ** (11月)

### 【3つの課題】

- 混雑への対応
- 宿泊施設の急増への対応
- 観光客のマナー違反への対応

市民生活の豊かさ・地域文化の継承へ市民の共感の輪を拡大

持続可能で市民・観光客・事業者の満足度の高い国際文化観光都市の実現

▶ **充実・強化する取組** 事業数：50事業 (着手率76%)

### ● 国連 観光・文化京都会議2019 ※別紙3

- ・日程 令和元年12月12日～13日
- ・参加者 各国の観光・文化大臣等 (約70箇国)
- ＜観光・文化京都宣言＞
- ▶ 京都モデルの推進 ▶ 行動規範の構築

第10回マネジメント会議 (令和2年3月)

次期観光振興計画策定 (令和2年秋)

### 環境の変化

・訪日観光客の増加 (国のR2訪日外客数の目標上方修正 2,000万人⇒4,000万人) ・混雑やマナー問題, 民泊問題の発生

・文化庁の京都への全面的移転決定 (H28.3)

・「民泊」の適正な運営等に関する宿泊事業及び旅館業事業に係る本市独自のルール施行 (H30.3～, 6～)

- ・調和PT設置 (R1.5)
- ・ラグビーW杯 (R1.9) ・東京オリ・パラ (R2.7)
- ・梅小路京都西駅開業 (R1.3) ・WMG関西 (R3.5)
- ・消費増税増税 ・簡易宿所の管理者原則常駐義務化 (R1.10) (R2.4)

・民泊PT設置 (H27.12)

・民泊通報・相談窓口設置 (H28.7)

・宿泊税制度の創設・徴収開始 (H30.10)

### 災害等の発生 国際情勢

・熊本地震 (H28.4)

・九州豪雨 (H29.7)

・大阪府北部地震 (H30.6) ・台風21号 (関空閉鎖) ・日韓関係悪化 (R1.8～)

・西日本豪雨 (H30.7)

(H30.9)

・新型コロナ (R2.1～)

・2018年猛暑 (H30.7-8)

## ● 京都市観光振興計画2020策定後の主要数値

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	策定後の増減率	計画策定時の目標値
観光客数	5,564万人	5,684万人	5,522万人	5,362万人	5,275万人	94.8%	—
宿泊客数	1,341万人	1,362万人	1,415万人	1,557万人	1,582万人	118.0%	—
外国人宿泊客数	183万人	<b>316万人</b> 目標達成	319万人	353万人	450万人	245.9%	年間300万人
旅館業許可施設数 (総客室数) ※年度	1,002 (29,189室)	1,228 (29,786室)	2,043 (33,887室)	2,866 (38,419室)	3,614 (46,147室)	360.7% (158.1%)	—
観光消費額	7,626億円	9,704億円	<b>1兆862億円</b> 目標達成	1兆1,268億円	<b>1兆3,082億円</b> 目標達成	171.6%	年間1兆円⇒1兆3,000億円
再来訪意向	(日本人)	94.8%	95.0%	95.3%	95.6%	95.1%	目標達成
	(外国人)	93.4%	92.2%	92.6%	93.5%	91.8%	
紹介意向	(日本人)	86.8%	86.3%	87.4%	87.2%	86.1%	
	(外国人)	98.1%	97.5%	96.4%	97.4%	97.1%	
おもてなし度	(日本人)	53.8%	42.7%	50.4%	51.4%	52.4%	
	(外国人)	—	92.6%	89.0%	89.1%	90.0%	

毎年着実に評価を向上させ、より100%に近づける